



平成29年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月6日

上場会社名 株式会社トーセ
 コード番号 4728 URL <http://www.tose.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 康人
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 中川 尚樹
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 075-342-2525

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第3四半期の連結業績(平成28年9月1日～平成29年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第3四半期	2,772	9.5	39	70.9	130	35.1	18	12.8
28年8月期第3四半期	3,064	14.7	136	48.2	96	77.7	20	92.3

(注) 包括利益 29年8月期第3四半期 79百万円 (%) 28年8月期第3四半期 44百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第3四半期	2.43	2.42
28年8月期第3四半期	2.79	2.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第3四半期	6,662	5,639	84.3
28年8月期	6,545	5,745	87.4

(参考) 自己資本 29年8月期第3四半期 5,613百万円 28年8月期 5,720百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期		12.50		12.50	25.00
29年8月期		12.50			
29年8月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年8月期の連結業績予想(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,001	2.6	233	10.0	333	66.4	92	0.9	12.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年8月期3Q	7,763,040 株	28年8月期	7,763,040 株
期末自己株式数	29年8月期3Q	270,617 株	28年8月期	274,297 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年8月期3Q	7,490,319 株	28年8月期3Q	7,472,053 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は平成29年7月6日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、「プレイステーション4」が全世界累計実売台数6,000万台を突破したほか(株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント発表)、「Nintendo Switch(ニンテンドースイッチ)」が好調な売れ行きを見せるとともに、米マイクロソフトも新型ゲーム機「Xbox One X」を平成29年11月に発売すると発表するなど明るい動きが見られました。また、多くのVR体験施設が登場するなど新たなゲーム体験の広がりに伴い、ゲーム市場の活性化が期待される状況となりました。一方で、スマートフォンゲーム市場は、大手ゲームメーカーによる有力コンテンツの積極的な展開などにより成熟化が進み、ユーザー獲得に向けた競争激化がより進行する状況となりました。

このような状況のもと、当社グループは平成28年8月期よりスタートした中期経営計画の2年目を迎え、「サービス業務の拡大」、「グローバル化の推進」、「サービス分野の拡大」及び「収益基盤の拡充」の重点施策に取り組み、中長期的な企業価値と資本効率の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、スマートフォン向けゲームの開発依頼の増加に伴い、モバイルコンテンツ関連の売上が大幅に伸長したものの、前年同四半期に比べて家庭用ゲームソフトの大型タイトルの開発完了が少なかったことなどにより、売上高は27億72百万円(前年同四半期比9.5%減)となりました。

利益面につきましては、開発費の一部を当社が負担し、当該費用をロイヤリティ売上で回収するレベニューシェアモデルを採用した家庭用ゲーム機向け大型案件のロイヤリティ売上が想定を下回った結果、営業利益39百万円(前年同四半期比70.9%減)となりました。一方で、円安の進行に伴って当社が保有・運用する外貨建資産の運用益や為替差益を想定以上に計上した結果、経常利益は1億30百万円(前年同四半期比35.1%増)となりました。また、特別損失に投資有価証券評価損1億16百万円を計上していることから、親会社株主に帰属する四半期純利益は18百万円(前年同四半期比12.8%減)となりました。

なお、開発完了タイトル数は、家庭用ゲーム機向け5タイトル、パソコン向け4タイトル、携帯端末向け6タイトルの合計15タイトルとなりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等) II 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

① デジタルエンタテインメント事業

当事業におきましては、ゲームを中心とするデジタルコンテンツの企画・開発・運営などの受託を行っております。製品別の内容は以下のとおりです。

ゲームソフト関連の売上は、前年同四半期に比べて家庭用ゲームソフトの大型タイトルの開発完了が少なかった影響により、9億74百万円(前年同四半期比37.1%減)となりました。

モバイルコンテンツ関連の売上は、スマートフォン向けゲームの大型化・高度化を背景として開発売上が伸長した結果、13億18百万円(前年同四半期比43.2%増)となりました。

パチンコ・パチスロ関連の売上は、規制強化の影響により引き続き厳しい受注環境が続いた結果、2億24百万円(前年同四半期比25.6%減)となりました。

この結果、当事業の売上高は25億17百万円(前年同四半期比9.2%減)となりました。なお、前述のとおり家庭用ゲーム機向け大型案件のロイヤリティ売上の影響により、営業利益は2億1百万円(前年同四半期比30.4%減)となりました。

② その他事業

当事業におきましては、東南アジア向けコンテンツ配信事業やSI事業、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズによる家庭用カラオケ楽曲配信事業やパソコン向けアバター制作業務などの新規事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間につきましては、前連結会計年度に引き続きSI事業においてスマート家電専用アプリの開発が好調に推移した一方で、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズにおいてパソコン向けアバター制作業務を中心に開発売上が低調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は2億55百万円(前年同四半期比12.8%減)となりました。また、東南アジア向けコンテンツ配信事業におきまして、事業戦略の見直しに伴い、たな卸資産の費用処理を行ったことにより、一時的に費用がかさんだことから、営業損失1億61百万円(前年同四半期は営業損失1億52百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末と比較して1億17百万円増加し、66億62百万円となりました。資産の部におきましては、売掛金、有価証券などが減少した一方で、現金及び預金、仕掛品などが増加したことにより、流動資産が1億85百万円増加しております。また、繰延税金資産が増加したものの、償却による有形固定資産及びソフトウェアの減少、投資有価証券などの減少により、固定資産が67百万円減少しております。

負債につきましては、買掛金、未払法人税等などが減少したものの、前受金、賞与引当金などが増加したことにより、前連結会計年度末と比較して2億22百万円増加し、10億22百万円となりました。

純資産につきましては、ストック・オプションの行使に伴う自己株式の減少などがあつたものの、配当金の支払いによる利益剰余金の減少やその他有価証券評価差額金の変動などにより、前連結会計年度末と比較して1億5百万円減少し、56億39百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月期の通期連結業績予想につきましては、平成29年4月6日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,114,443	2,318,251
売掛金	515,638	177,606
有価証券	328,014	252,887
仕掛品	493,561	849,023
繰延税金資産	67,244	65,773
その他	69,930	110,353
流動資産合計	3,588,834	3,773,895
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,232,359	1,239,343
減価償却累計額	△650,531	△675,711
建物及び構築物(純額)	581,827	563,631
工具、器具及び備品	298,516	301,763
減価償却累計額	△275,651	△281,427
工具、器具及び備品(純額)	22,864	20,335
土地	709,565	709,565
その他	68,296	68,296
減価償却累計額	△59,442	△61,731
その他(純額)	8,854	6,565
有形固定資産合計	1,323,111	1,300,098
無形固定資産		
ソフトウェア	40,727	29,178
電話加入権	2,135	2,135
無形固定資産合計	42,862	31,313
投資その他の資産		
投資有価証券	682,902	625,897
退職給付に係る資産	27,986	26,452
繰延税金資産	43,547	70,700
投資不動産	378,776	381,266
減価償却累計額	△63,477	△69,528
投資不動産(純額)	315,298	311,737
関係会社長期貸付金	10,349	10,655
その他	510,828	512,044
投資その他の資産合計	1,590,913	1,557,488
固定資産合計	2,956,887	2,888,900
資産合計	6,545,721	6,662,796

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	72,977	59,398
未払法人税等	2,967	42
前受金	45,161	255,662
賞与引当金	112,880	148,139
役員賞与引当金	-	9,360
その他	259,391	263,034
流動負債合計	493,378	735,637
固定負債		
役員退職慰労引当金	266,821	247,503
その他	39,674	39,674
固定負債合計	306,495	287,177
負債合計	799,874	1,022,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	967,000	967,000
資本剰余金	1,313,184	1,313,184
利益剰余金	3,774,740	3,604,733
自己株式	△258,839	△255,324
株主資本合計	5,796,085	5,629,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△54,536	△2,833
為替換算調整勘定	7,677	13,151
退職給付に係る調整累計額	△28,764	△25,937
その他の包括利益累計額合計	△75,623	△15,619
新株予約権	5,549	5,065
非支配株主持分	19,835	20,940
純資産合計	5,745,846	5,639,980
負債純資産合計	6,545,721	6,662,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
売上高	3,064,311	2,772,927
売上原価	2,269,067	2,118,473
売上総利益	795,243	654,453
販売費及び一般管理費	658,250	614,612
営業利益	136,993	39,840
営業外収益		
受取利息	15,203	9,821
受取配当金	6,485	3,784
投資有価証券評価益	-	37,361
持分法による投資利益	-	306
不動産賃貸料	37,347	38,880
為替差益	-	15,099
雑収入	10,519	9,637
営業外収益合計	69,555	114,891
営業外費用		
支払利息	82	14
持分法による投資損失	15,702	-
為替差損	20,159	-
投資有価証券評価損	39,798	-
不動産賃貸費用	24,094	24,100
雑損失	10,074	97
営業外費用合計	109,912	24,213
経常利益	96,636	130,517
特別利益		
新株予約権戻入益	260	269
特別利益合計	260	269
特別損失		
固定資産除却損	35	4
有価証券売却損	-	18,488
投資有価証券売却損	-	5,570
投資有価証券評価損	-	116,544
社葬関連費用	23,706	-
特別損失合計	23,742	140,607
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	73,154	△9,819
法人税、住民税及び事業税	44,620	15,660
法人税等調整額	5,749	△44,761
法人税等合計	50,369	△29,100
四半期純利益	22,785	19,281
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,929	1,104
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,855	18,176

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	22,785	19,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,126	51,703
為替換算調整勘定	△13,919	5,474
退職給付に係る調整額	1,683	2,827
その他の包括利益合計	△67,363	60,004
四半期包括利益	△44,578	79,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△46,507	78,180
非支配株主に係る四半期包括利益	1,929	1,104

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延資金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年9月1日至平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,771,011	293,299	3,064,311	—	3,064,311
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,139	32,365	38,505	△38,505	—
計	2,777,151	325,664	3,102,816	△38,505	3,064,311
セグメント利益又は損失(△)	289,237	△152,243	136,993	—	136,993

(注)1 売上高の調整額△38,505千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年9月1日至平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,517,283	255,643	2,772,927	—	2,772,927
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,732	22,438	34,171	△34,171	—
計	2,529,016	278,082	2,807,098	△34,171	2,772,927
セグメント利益又は損失(△)	201,441	△161,600	39,840	—	39,840

(注)1 売上高の調整額△34,171千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、近年のゲーム市場の動向を鑑み、「ゲームソフト開発事業」と「モバイル開発事業」の親和性が高まってきたことに適切に対応するため、平成28年9月1日付けで組織変更を実施したことに伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分方法を見直しております。具体的には、従来の「ゲームソフト開発事業」及び「モバイル開発事業」を統合し、新たに「デジタルエンタテインメント事業」とし、報告セグメントを従来の「ゲームソフト開発事業」、「モバイル開発事業」及び「その他事業」の3区分から、「デジタルエンタテインメント事業」及び「その他事業」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分方法により作成しております。